

国分寺学の取り組みについて

本校では、3年間を通した系統的な地域学習「国分寺学」に取り組んでいます。本活動は、自分たちの暮らす国分寺市について理解を深め、地域社会の一員としての自覚を育むことを目的としています。

1 年生「地域を知る」

1年生は「地域を知る」をテーマに学習を進めました。

ロゲイニング形式による地域巡りでは、地図を手に班ごとに史跡や公共施設、自然環境などを訪れました。武蔵国分寺跡をはじめとする歴史的な場所や地域の施設を巡る中で、地域の成り立ちや特色を実感を伴って学ぶことができました。

さらに、国分寺学の一環として、市の取り組みを調べた学習を踏まえ、出前授業「市政のことが知りたい」を実施しました。市役所や消防署の担当の方々に来校していただき、生徒たちは自分たちの調べ学習から生まれた疑問をもとにインタビューを行いました。直接質問することで、疑問を解消するとともに、市の施策についてより深く理解することができました。



2 年生「地域とつながる」

2年生は「地域とつながる」をテーマに、防災学習と職場体験に取り組みました。

防災学習では、コミュニティ・スクール協議会の方や保護者、地域の皆さまと一緒に HUG（避難所運営ゲーム）を行い、災害時の避難所運営について考えました。多様な立場の避難者への対応を検討する中で、互いに支え合う地域の姿について理解を深めることができました。

また、職場体験では地域の事業所の皆さまにご協力いただき、実際の業務に触れました。働くことの責任ややりがいを学ぶとともに、地域社会が多くの人の支えによって成り立っていることを実感する貴重な機会となりました。



3 年生「地域について考える」

3年生は「地域について考える」をテーマに、SDGs の視点からこれからの国分寺市への提言をまとめました。

国分寺市総合ビジョンを手がかりに、分野と立場を掛け合わせてテーマを設定し、一人ひとりがプレゼンテーションを実施しました。地域の現状を調べ、課題を整理したうえで、自分なりの考えを発表することで、地域の未来を主体的に見つめ考える姿勢が育まれました。

